



三上 貴彦
大阪観光大学学長

とは、問題解決能力の育成という視点からは、よいことであると言えます。初等中等教育はもちろん、大学においても、幅広い教養と、できるだけ広い、自分の専門領域では深い知識を身につける努力が必要です。

また、問題の解決に挑戦しようという意欲を持つことも重要です。それまでに自分が物事を成し遂げた時に味

グローバル社会では、経験したことのな問題は課題を自分で

意味で、問題解決には、知識が必要です。日本では、戦後の一

グローバル人材に必要な問題解決学習

解決する力、言い換え

時期に、学校教育で

知識偏重の教育が批判され、学ぶ過程を大切に

極めて重要です。

私は、問題解決能力

知識偏重の教育が批判され、学ぶ過程を大切に

は、自分が身につけて

知識偏重の教育が批判され、学ぶ過程を大切に

知識偏重の教育が批判され、学ぶ過程を大切に

る知識・技能・経験な

知識偏重の教育が批判され、学ぶ過程を大切に

知識偏重の教育が批判され、学ぶ過程を大切に

大阪観光大学 観光学部・国際交流学部

(併設校：明浄学院高等学校)

〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1
TEL.072-453-8222 <http://www.tourism.ac.jp>

国際交流学部BLOGをチェック!

<http://www.tourism.ac.jp/blog-cultural/>